



## 提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

商用化目前

- 一般的なクラウド処理と比較して、低遅延に画像認識できるため、遅延により実現できなかったソリューションの創出が期待される
- スマホのGPUを使わないため、スマホの電池を気にせずに画像認識が可能
- エッジに高価なコンピューティング機器が不要なため、拠点数が多い場合、コストメリット
- インターネット網を通らないためセキュア

## 概要

- MEC (Multi-access Edge Cloud) の特徴を持つ docomo Open Innovation Cloud (dOIC) 上に画像認識APIを構築
- ドコモ網からインターネットに抜けることなく、交換機とGPUサーバーを接続することで、低遅延、低消費電力、セキュアに画像認識
- 物体検出(ボディーパーツ検出、商品検出)、物体認識(シーン認識、ファッション認識)の2種類のエンジンが利用可能
- 拠点数が多い、可搬型のカメラ、スマホ等バッテリー利用など、運用に制約があるソリューションでの活用を想定